

## 「プライスカップの運用に関する研究会」開催要綱（案）

## 1 背景及び目的

東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社（以下「NTT東西」という。）の加入電話等に係る料金について、平成12年10月1日以降、上限価格（プライスカップ）方式が導入されている。

上限価格を示す基準料金指数の設定にあたっては、3年ごとに合理的な将来原価の予測に基づく生産性向上見込率（X値）を算定することとされているが、現行のX値の適用期限が平成21年9月末までとなっていることから、平成21年10月1日以降に適用される基準料金指数の設定に必要なX値を新たに算定する必要がある。

本研究会は、当該X値を算定する際に留意すべき事項について検討、整理を行うものである。

## 2 名称

本研究会は、「プライスカップの運用に関する研究会」（以下「研究会」という。）と称する。

## 3 検討事項

- (1) 加入電話等プライスカップ対象サービスの収入・費用予測
- (2) NTT東西の経営効率分析（計測方法の検討及び実測）
- (3) 以上を踏まえたX値算定の考え方
- (4) その他

## 4 構成

- (1) 研究会は、総務省総合通信基盤局電気通信事業部長の研究会とする。
- (2) 研究会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 座長は研究会構成員の互選により定め、座長代理は、研究会構成員の中から座長が指名する。
- (4) オブザーバーとして、NTT東西の参画を得る。

## 5 運営

- (1) 研究会は、座長が招集し、主宰する。
- (2) 座長代理は、座長を補佐し、座長が不在のときは、その職務を代行する。
- (3) 研究会は、必要があると認めるときは、構成員以外の者から意見を徴することができる。
- (4) その他、研究会の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

## 6 開催時期

研究会は、平成21年1月から平成21年3月末までを目途として開催する。

## 7 庶務

研究会の庶務は、総務省総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課が行う。

「プライスキップの運用に関する研究会」構成員(案)

(敬称略、五十音順)

いとう なりやす  
伊藤 成康 (武蔵大学経済学部教授)

せきぐち ひろまさ  
関口 博正 (神奈川大学経営学部准教授)

つじ まさつぐ  
辻 正次 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科教授)

とりい あきお  
鳥居 昭夫 (横浜国立大学経営学部教授)

やまうち ひろたか  
山内 弘隆 (一橋大学大学院商学研究科教授)